

防災啓発クロスロード あなたならどうする？



○地震で家がこわれたので、家族みんなで避難所へ行きました。避難所には食糧を持っていない人がたくさんいます。あなたが持っていった非常持ち出し袋には食糧が3日分あります。持っていない人の前でその袋を開けますか？

○避難所では困っている人がたくさんいるので、毎日いろんなことを手伝っています。なので、受験生のあなたは勉強をする時間がなく、このままでは受験に合格できなくなるかもしれません。避難所の手伝いをやめて勉強しますか？

防災啓発学習

@柘植中学校

…中学生が考え合いました…

地域の誰もが 防災担当者！

自主防災実行委員会



小学校の先生方も…

8月20日(月)午後、柘植小学校で、夏休み中の教職員研修として行われた「HUG」(避難所運営ゲーム)を自

※クロスロードとは、決すべき「岐路」「分かれ道」のこと。阪神淡路大震災の教訓から考え出された啓発教材です。

災害時に起こりうる課題に対して生徒一人ひとりがどう対処するかを自ら判断するようトレーニングになりました。



8月29日(水)午前、柘植中学校で防災訓練があり、その後、自主防災実行委員会が防災学習「クロスロードゲーム」のお手伝いをしました。



柘植地域

まちづくりだより 第219号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

〒五二九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日 二〇一八(平成三十)年九月一日(土)

柘植地域俳句コーナー
鳥渡る

一鳥のみに
人住めり
石河宏子

主防災実行委員会がお手伝いしました。

HUG 状況カード例

本日9時以降、名阪国道伊賀IC~亀山ICが通行不能に。多数の車両が名阪に停止。今後、避難者が小学校避難所へ来る予定。対応の検討をお願いします！

「状況カード」(例を参照)を用意して避難所運営の研修を行いました。

実名を使うことで、そこに住む人や地域の地形などをリアルに思い浮かべることができ、より具体的な研修にすることができました。

プレイヤーの教職員のみならず、柘植小学校が現実に避難所となることを想定し、真剣かつ現実的に取り組まれています。

将来、大災害に遭遇しても地域の自主防災メンバーと一緒に災害に



第5回 つげっこ 夏まつり

大人も子どもも 柘植川で、おおはしゃぎしました！

教育文化部会



昼食は女性活動部会の協力を得てカレーライスを頂きました。またスイカ割りもみんなの声援の中で大成功しました。



今年で5回目となった「つげっこ夏まつり」が8月11日(土・山の日)に開催されました。朝、柘植地区市民センターに集合した後、子ども、保護者、関係者など総勢約40人が柘植川に移動。河川敷で、全員が準備運動をした後、子どもたちは川に入り元気にイカダ乗り、魚とりなど水の感触を楽しんでいました。ボランティアの指導で水鉄砲を作ったり、紙玉鉄砲、弓矢、竹とんぼ等昔の子ども遊びを楽しみ、子どもたちはもちろんのこと大人の方が夢中になってしまう場面もありました。昼食の後には、紙芝居をみんなで楽しみました。

教育文化部会員で事前に草刈などの整備をしました。



8月18日(土)、ふるさと会館いがと柘植中学校・霊峰中学校を会場に、第43回いがまち人権・同和教育研究大会が開催されました。



慶應義塾大学の井出英策さん(写真)が「自由と可

能性の財政改革「自己責任社会を乗り越えるために」というテーマで現在の日本の置かれた実情を各種のデータを出して斬り、今後めざすべき「頼り合える社会」について方向性を示していただきました。

運不運で一生が決まってしまう現在の日本「自己責任社会」を、「頼り合える社会」に作り変え、自由と可能性をすべての人にとの政策メッセージが参加者にわかりやすく伝わりました。

午後はそれぞれの会場で分科会がありました。



10月7日は、地域挙げての防災訓練です。



8月17日(金)、市民センターにおいて、第2回実行委員会(写真)が開催されました。

今回は、特に10月7日に開催する「柘植地域合同防災訓練」の細部計画について、服部文昭事務局長が説明し、各区の委員から出された問題点について審議しました。

今回の訓練は、大規模地震が深夜発生、夜が明けて明るくなって状況が判明してきたという段階で午前8時に訓練を開始するという想定です。

今年の訓練は、避難所開設までみんなでやってみる訓練。
初動期は、一人ひとりの主体者意識が重要です!

各区での安否確認と地域災害対策本部への報告から始まり、避難行動「指定避難所の開設を行います」。

前回のようないきなり地震や煙道体験、消火器操作方法といった訓練は実施せずに、指定避難所の開設を初動リーダーだけではなく、避難者の皆さんにも手伝って頂き、一人ひとりが主体者として災害に立ち向かえる姿勢を訓練するものです。

また、防災訓練の「事前アンケート」を各世帯単位で配布(8月末頃)して、自助・共助に関する取り組み状況や意識を広く把握することとしていますので、各家庭でご回答・ご提出(9月上旬)をお願いします。

加えて、実際に各地で避難所運営上、問題となっている「ペットの避難」について、飼い主さんの意識や準備状況も同時にアンケート調査をします。

結果は自主防災実行委員会で整理した後、資料としてご報告しますので、ご協力をよろしくお願いします。

自主防災実行委員会

地域交通のありようを議論

8月24日(金)夜、伊賀支所で、今年度第一回の伊賀市地域公共交通活性化再生協議会がまち部会(柘植・西柘植・王生野)が開催されました。

柘植地域からは松山宗達さん(柘植駅を核とした公共交通のあり方検討委員)と柘植美智代さん(健康福祉部会長)が



出席、松山さんには伊賀まち地域部会議長も務めていただいています。

合いがなされました。現行のいがまち行政サービス巡回車が新庁舎へのアクセスが一切考えられていないことや、合併後長期にわたる支所間の連携や伊賀市一体化を図る体系になっていない点を指摘しました。

9月13日(木)午前9時から柘植地区市民センターで「公共交通に関する協議」を開催します。関心のある方はご参加ください。

地域美化対策として ナタネ栽培の可能性を探る

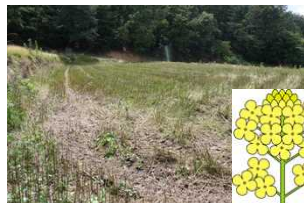
生活環境部会



8月24日(金)夜、ゆめテクノ伊賀で、菜種栽培講習会が開かれました。冒頭、大山田農林業公社の亀井健司さん(写真)から、今年度は菜の花プロジェクトが始まって以来の不作で、約5トンの収量しかなく反収も例年の半分程度だったことが報告されました。

その後、ナタネ栽培の講習や市の補助事業などの説明がありました。

ちなみに柘植地域で取り組んだ分(写真:7月12日刈取後)は、好成績であり、今後の栽培に向けた可能性が高まっています。柘植まち協では、まずは「景観向上」を第一の目的に、ナタネ栽培者を募集しています。



柘植地域の美化をめざして
：ナタネ栽培者募集
 まち協の一員として栽培をしてみませんか？
 お問い合わせ 9月14日までに生活環境部会まで

8月25日(土)午後、柘植公民館で、今年度、第4回の「計画」・規約等検討委員会を開催しました。

座長である藤井明和さんから、ここまで積み上げてきた議論の報告を受け、「役員選考」の件と「部会のあり方」などについての審議しました。

「役員選考」については、当委員会からの提言を受け役員会で検討中ですが、「現役員や区長、顧問を含む7名の委員で新役員を選考を行う」形でおおむね進む予定です。

次に、「部会のあり方」については、まち協と各区との関係が重要な課題としてありますが、「伊賀市再生計画にあるカテゴリー」を基本に再編を審議しています。

★★★事務局だより★★★

▼「山論文書」の特別展示期間中、柘植公民館には、約60名の歴史民俗資料が展示されています。柘植の歴史民俗資料館に、約60名の歴史民俗資料が展示されています。柘植の歴史民俗資料館に、約60名の歴史民俗資料が展示されています。



来年度以降のまち協のあり方を検討しています